

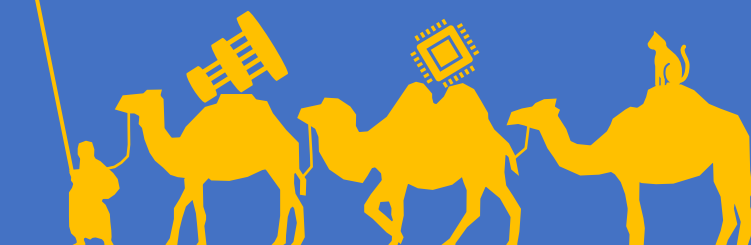
参加無料
要申込

めんそーれ、波に乗れ

7/22 Wed.
13:30-17:00

量子キャラバン

in 沖縄



量子コンピュータの最新事例や動向について解説し、
ビジネス・医療において、どのような課題に応用できる可能性があるかをご紹介します。
企業様はもちろん、学生様の参加者もお待ちしております！

【プログラム】

第1部：講演

沖縄経済同友会

(GW2050 PROJECTS 推進協議会) 本永 浩之 氏

沖縄科学技術大学院大学 根本 香絵 氏

Qubitcore株式会社 綿貫 竜太 氏

第2部：パネルディスカッション

モデレータ：永山 翔太 氏

パネリスト：本永 浩之 氏/根本 香絵 氏/

綿貫 竜太 氏/荻島 創一 氏/松下 正之 氏

第3部：量子関連事業について

日 時 | 2026年7月22日（水）13:30-17:00
会 場 | SAKURA innobase Okinawa
(沖縄県那覇市松山1-2-13 長谷工那覇ビル1F)
形 式 | 現地開催のみ
費 用 | 無料
定 員 | 会場：70名（※定員到達次第締切）

参加ご希望の方は、[こちら](https://forms.office.com/r/QCdVpfwrFa)

(<https://forms.office.com/r/QCdVpfwrFa>)

または二次元バーコードから
お申し込みください。

【申込締切】

2026年7月13日（月）17:00



※ 17時より懇親会・名刺交換会(有料)を開催します。
詳細は申込アンケートフォームをご覧ください。

今回、ご参加が難しい皆様へ 次は「あなたの街」へ伺います！

「私たちの地域でも開催してほしい」などリクエストをぜひお寄せください！



主催：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

AI・ロボット部 量子ユニット

共催：内閣府沖縄総合事務局 協力：NEDO量子懸賞金事業事務局

【問い合わせ先】

NEDO量子懸賞金事業事務局

qc-challenge@nedo-challenge.jp

量子キャラバン・沖縄編 登壇者紹介



沖縄経済同友会 代表幹事/GW2050 PROJECTS 推進協議会 代表理事

本永 浩之 Hiroyuki Motonaga

沖縄電力(株)代表取締役会長。離島県である沖縄で安定供給という課題に向き合いつつ、7年間の社長在任中にはDX推進や脱炭素への取組みといった経営改革を指揮。また、沖縄経済同友会の代表幹事やGW2050 PROJECTS推進協議会の代表理事として、沖縄の持続可能なまちづくりや産業創出など、沖縄県の未来・社会づくりにも精力的に取り組んでいる。



沖縄科学技術大学院大学 OIST量子技術センター／センター長

根本 香絵 Kae Nemoto

沖縄科学技術大学院大学（OIST）量子アーキテクチャ・ユニット教授。2022年10月より、OIST量子技術センターを設立し、センター長に就任。専門は、理論物理学、量子情報等。SIP第3期課題およびNEDOポスト5G基金の支援を受けて人材育成プログラムを実施。



Qubitcore株式会社 創業者兼代表取締役CEO

綿貫 竜太 Ryuta Watanuki

連続起業家・経営者。横浜国立大学で博士号取得後、東京大学で特任研究員、横浜国立大学で専任教員として固体物理学の研究教育に従事。株式会社グレース、株式会社イクシナの代表取締役を経てQubitcore株式会社を創業。OIST発の技術により、量子光接続によるスケーラブルなイオントラップ量子コンピュータの事業化を進める。



東北大学 高等研究機構 未来型医療創成センター/東北メディカル・メガバンク機構

荻島 創一 Soichi Ogishima

東京大学工学部計数工学科卒業。東京医科歯科大学大学院博士課程修了。博士（医学）。同大学難治疾患研究所生命情報学分野助教、東北大学東北メディカル・メガバンク機構准教授を経て、現在は東北大学高等研究機構未来型医療創成センター/東北メディカル・メガバンク機構医療情報ICT部門ゲノム医科学情報学分野教授。



琉球大学大学院医学研究科 分子・細胞生理学講座 教授

松下 正之 Masayuki Matsushita

米国ロックフェラー大学研究員、三菱化学生命科学研究所グループリーダーを経て、2009年より琉球大学大学院医学研究科教授に就任。2013年からは同医学部長を務めるなど、同大の教育・研究の発展を牽引。現職では大学院医学研究科分子・細胞生理学講座の教授として、神経科学研究や医療データを活用した予防医学研究に従事している。日本リアルワールドデータ学会理事長、日本生理学会理事、医療情報共有機構理事などを兼任している。



慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 准教授

永山 翔太 Shota Nagayama

専門は量子インターネット、特に量子エラー訂正と通信アーキテクチャ。2017年博士取得後、メルカリと慶應で量子技術のシステム化研究を推進。現在、量子インターネットタスクフォース代表、WIDEプロジェクトボードメンバー、KMD量子未来社会デザイン研究センター長、IPSJ量子ソフトウェア研究会幹事などを務める。